

「関西創生戦略(案)」に対するご意見・ご提案と関西広域連合の考え方

平成 28 年 6 月

関西広域連合本部事務局

「関西創生戦略(案)」に対する意見等を募集した結果、11名から延べ79件（うち意見の公表を望まないもの1件）のご意見・ご提案をいただきました。いただいたご意見・ご提案に対する関西広域連合の考え方は下記のとおりです。

1 基本的な考え方

(1)国土の双眼構造を実現する関西

整理番号	ご意見・ご提案	関西広域連合の考え方
1	おおむねよし。京都市（長）の提案する「双京構想」の視点が必要。	<p>・21ページ「ア.バックアップ拠点の構築」において、「皇室の安心・安全」と記載しておりますが、これは「双京構想」の趣旨も踏まえたものであり、政府関係機関の関西への移転も含め、首都機能の平時からの分散を核として、取組の主体となる構成府県市や関西の経済団体と一丸となって、移転について国等に対する要望を展開してまいります。</p>
2	文化庁の移転を契機に宮内庁京都事務所の機能強化、皇室の“還幸”をめざし、準備を進めるべきである（京都御苑、御所の再整備。迎賓館の増築。奈良平城京公園や大極殿の再整備。難波宮跡の再整備。飛鳥京、藤原京の再整備等を推進）。	
3	<p>「ミニ東京」を目指すのではなく、関西の持つ優位性を活用、と明記するからには、関西と東京に関して、“数値的内容”、“質的内容”の対比記述が必要。</p> <p>説得力を上げるには、数的、質的データは不可欠である。</p>	<p>・今後、広域計画の改訂にあわせて本戦略も見直すこととしておりますので、その検討の際には、いただきましたご意見も参考にさせていただき、データのあり方について検討してまいります。</p>

整理番号	ご意見・ご提案	関西広域連合の考え方
4	<p>東京一極集中が加速するというが、関西の現状を見るに当然の結果である。「ミニ東京圏」などナンセンス、関西の持つ優位性の活用こそが急務である。</p> <p>当面の目標として、①文化遺産、②多様な産業集積・世界的な科学技術基盤(中小企業集団)、③災害文化の発信拠点、そして、総花的でなく目的を明確にして各知事が機能別に責任を負うべきである。中央省庁の関西移転の推進などは当面の目標として、①兵庫県(観光庁)、②大阪府(中小企業庁)、③防災庁等に絞り込んで実現を図るべきである。</p>	<p>・今後、広域計画の改訂にあわせて本戦略も見直すこととしておりますので、その検討の際には、いただきましたご意見も参考にさせていただきます。</p> <p>・なお、このため、本戦略の「第2部 総合戦略」の「3 今後の方向性」を追加しました。</p>
5	<p>「関西の産学官の力の結集」に関して、中小企業を特記する必要がある。</p> <p>関西と言えば中小企業、中小企業でも高度の経営、といえる良好なイメージ醸成をし、全国のモデルになる取り組みが、大きな戦略になるべきである。</p> <p>“中小企業重視”と政府、自治体はことあるごとに言及するが、中小企業の経営者間には政治・行政に対しての不信感もあり、それらを払拭する良い機会でもある。</p>	

(2) 人が環流し地域の魅力を高める関西

整理番号	ご意見・ご提案	関西広域連合の考え方
6	<p>「居住の流動性」の向上と「人の環流」を創造し得る具体的な施策が必要。</p> <p>神戸市(長)の提案する「輝ける未来創造都市」や「農都・神戸」の理念を活用すべきである。</p>	<p>・今後、広域計画の改訂にあわせて本戦略も見直すこととしておりますので、その検討の際には、いただきましたご意見も参考にさせていただきます。</p> <p>・なお、このため、本戦略の「第2部 総合戦略」の「3 今後の方向性」を追加しました。</p>

整理番号	ご意見・ご提案	関西広域連合の考え方
7	<p>市民、住民レベルにおいて、「関西広域連合」「関西創生」に関して、啓発、啓蒙、PR が不十分である。</p> <p>住民の関心度に関してデータがあれば提示し、目標数値も明記すべきである。関西のブランディング戦略にも関係することである。関西在住外国人、域外在日外国人も PR 対象である。</p> <p>関西圏域の住民に対しても PR 不足であり、ましてや、他圏域から関西圏域への移住促進などは、夢のまた夢、他人事であろう。事案の成果を得るには、合目的な業務深化、努力・考動が不可欠である。</p>	<p>・今後、広域計画の改訂にあわせて本戦略も見直すこととしておりますので、その検討の際には、いただきましたご意見も参考にさせていただきます。</p> <p>・なお、このため、本戦略の「第2部 総合戦略」の「3 今後の方向性」を追加しました。</p>

2 基本目標・基本方向・具体的な施策

■基本目標1 2020年に関西の転出入の均衡を目指す

整理番号	ご意見・ご提案	関西広域連合の考え方
8	<p>2019年に前倒しを目指すべき。関西広域連合構成団体が協力共同して新卒者の連合内就職、東京圏等からの流入（Iターン）を実現するべく尽力すべきである。</p>	<p>・今後、広域計画の改訂にあわせて本戦略も見直すこととしておりますので、その検討の際には、いただきましたご意見も参考にさせていただきます。</p> <p>・なお、このため、本戦略の「第2部 総合戦略」の「3 今後の方向性」を追加しました。</p>
9	<p>双眼となるライバル相手の東京都の事例データが明示されるべきである。脱落している。全国データは参考的データである。戦略視点、内容の深化、脈絡の整合性は重要である。</p>	<p>・今後、広域計画の改訂にあわせて本戦略も見直すこととしておりますので、その検討の際には、いただきましたご意見も参考にいただき、データのあり方について検討してまいります。</p>

■基本目標2 国の経済成長率を超える成長を目指す

整理番号	ご意見・ご提案	関西広域連合の考え方
10	<p>東京の経済成長に関するデータが欠落している。双眼となるライバル相手の東京都の経済成長に関するデータが脱落している。基本的な考え方である。「ミニ東京でない」関西、「東京一極集中を是正」という意気込み、情熱、覚悟が一貫していない。思考・脈絡の不整合が「戦略は言葉だけ、何が何だか分からない印象を提示している。</p> <p>戦略の理念のすごみが消滅しかかっている感を露呈している。</p>	<p>・今後、広域計画の改訂にあわせて本戦略も見直すこととしておりますので、その検討の際には、いただきましたご意見も参考にさせていただき、データのあり方について検討してまいります。</p>

・基本的方向① 国土の双眼構造を先導する取組の推進

整理番号	ご意見・ご提案	関西広域連合の考え方
11	<p>「国策」としての「国土双眼構造」の考えと「本戦略」との整合性を図るべき。</p>	<p>・今後、広域計画の改訂にあわせて本戦略も見直すこととしておりますので、その検討の際には、いただきましたご意見も参考にさせていただきます。</p> <p>・なお、このため、本戦略の「第2部 総合戦略」の「3 今後の方向性」を追加しました。</p>
12	<p>政府機関の関西への移転については、京都への文化庁の移転が決定したが、これもただ京都への移転というのではなく、京都の長い歴史と文化を反映したものにすべきだと考える。</p>	
13	<p>関西広域連合構成団体のすべての府県に政府機関への移転は無理と考えるが、大阪府、兵庫県には何とか経済、医療、科学などに関係した機関の移転があればよいと考える。</p>	

整理番号	ご意見・ご提案	関西広域連合の考え方
14	<p>今回の戦略（案）の中で関西のバックアップ拠点 政府系機関の関西移転については書かれているが、分権のこと、国の権限の移管等、いわゆる権限の受け皿については書かれていない。このため、この内容では“広域的な取り組みなどを緊急的かつ集中的に実施するため”の戦略としては相変わらず中央に頼る内容であり、この内容では実施できる内容になっていない。</p> <p>権限の移管についても明記してほしい。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・今後、広域計画の改訂にあわせて本戦略も見直すこととしておりますので、その検討の際には、いただきましたご意見も参考にさせていただきます。 ・なお、このため、本戦略の「第2部 総合戦略」の「3 今後の方向性」を追加しました。
15	<p>国会議事堂（予備）機能をけいはんな学研都市に置き、国立国会図書館関西分館と連動。付近に最高裁判所別館（新館）を新設。最高検察庁別館も併設（司法権の二重化可能（関東「首都圏壊滅」に余備）化。皇居、宮内庁“二重化”。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・双眼構造の一翼を担うため、政治、外交、行政、経済等の機能について、関西をバックアップ拠点に位置付け、政府関係機関の関西への移転など、首都機能の平時からの分散を核に取組を推進してまいります。
16	<p>関西広域連合本部事務局が、徳島県への消費者庁並びに国民生活センターの政府移転と和歌山県への総務省統計局の政府移転の支援を行う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・徳島県への消費者庁、内閣府消費者委員会及び(独)国民生活センター並びに和歌山県への総務省統計局及び(独)統計センターの移転など、政府関係機関の関西への移転につきましては、取組の主体となる構成府県市や関西の経済団体と一丸となって、国等に対する要望を展開してまいります。

整理番号	ご意見・ご提案	関西広域連合の考え方
17	「関西広域連合・広域防災局」を基礎にして「関西広域連合・防災庁」への組織開発や組織拡大を行う。	・東京と関西双方で連携・分担する防災庁（仮称）の設置に向けた取組につきましては、現在の国全体の危機管理体制の課題を抽出し、いただきましたご意見も参考に方向性を整理した上で、その機能のあり方について検討し、国へ提案してまいります。
18	「関西広域連合・広域医療局」を基礎にして「関西広域連合・防災庁防災医療部」の設置を行う。	
19	<p>（ウ）防災庁（仮称）の設置について</p> <p>「防災省（仮称）」に改め副総理級の国務大臣（政務三役）が常駐する組織とし、「関西」と「関東」とすべきである。</p> <p>さらに、この「防災省（仮称）」に、元京都大学総長の尾池和夫氏が1990年代から提唱している「地震火山庁（仮称）」を設置して運営すべきである。</p> <p>産業総合技術研究所の地質活断層調査部門（関西支所）、防災科学技術研究所の分所、「人と防災未来センター」、「ひょうご震災記念21世紀研究機構」等の機能も拡大活用強化しながら、「地震火山庁（仮称）」を設置し、中南海トラフ地震津波等の古代災害や首都圏（関東圏）直下型地震及び津波等の複合型、都市型災害に備えるべきである。これにより、4月14日以降に生じた九州中部熊本大分（内陸）の地震（活断層連動型）農山漁村型災害にも備えることができるはずである。</p> <p>「防災省（仮称）」には「原子力」災害や産業施設災害や交通機関施設災害等の「人為的災害」の減免、抑止する「危機管理」機能と調査研究機能等、国家の統治機構を改革再編すべき課題を解決できる機能を持たねばならない。</p>	

整理番号	ご意見・ご提案	関西広域連合の考え方
20	<p>過去に発生した阪神・淡路大震災や東日本大震災などの教訓や支援活動のあり方を今一度反省し、東日本大震災をきっかけに開庁して5年になる復興庁が取り組んできた業務の検証、被災者との関わりなどの反省、見直し、地震、防災学にくわしい有識者からの助言や府県民からの意見を基に防災庁のあり方を検討していただきたいと思う。</p>	<p>・東京と関西双方で連携・分担する防災庁（仮称）の設置に向けた取組につきましては、現在の国全体の危機管理体制の課題を抽出し、いただきましたご意見も参考に方向性を整理した上で、その機能のあり方について検討し、国へ提案してまいります。</p>
21	<p>防災庁やその機能のあり方検討については、関西広域連合本部事務局の職員の中で行うのではなく、近畿地方の府・県民の理解、周知徹底が必要と思う。自分がいつ被災者になるか、自分が住む街が被災地になるかを考え、自分の命や自分の周りにいる家族や職場の同僚などの命を守れるよう、そして、何より防災に関心を持っていただくことで防災庁検討への関心も深まると思う。</p> <p>市民防災センターが京都市南区、大阪市阿倍野区、奈良県奈良市にあると思う。特に3月、9月には催しも開催されると思うので、来館し、体験・学習していただければと思う。</p>	
22	<p>大規模災害は震災直後とその後では時間の経過とともに被災地、被災者の支援や要望が変わってくるであろうし、数多くの分野において内容のある支援が必要と思う。</p> <p>防災庁では気象庁や総務省と連携し、震災発生の発令と同時に近畿地方の府県や市町村への連絡、震災直後の早期の人命救助や住民避難を進めるための自衛隊、消防庁や消防局、消防組合の消防士、警察官、海上保安官の現地派遣と人命救助が迅速、確実に行えるような支援と情報把握、リエゾンと呼ばれる被災地で情報を集める地方整備局職員からの連絡を受け、必要な支援や支援物資の調達、搬入が必要と思う。</p>	<p>・今後、広域計画の改訂にあわせて本戦略も見直すこととしておりますので、その検討の際には、いただきましたご意見も参考にさせていただきます。</p> <p>・なお、このため、本戦略の「第2部 総合戦略」の「3 今後の方向性」を追加しました。</p>

整理番号	ご意見・ご提案	関西広域連合の考え方
23	<p>大規模災害発生直後は、自衛隊・消防士・警察官・海上保安官などによる人命救助が大切だが、負傷者の診察・治療・搬送・医療機関への受診、高齢者・障がい者などへの支援、介護が必要な方への対応、小・中学校、高等学校などの教育機関や児童・学生への支援、道路・鉄道・空港など公共交通機関の復旧、農地・畜産・酪農など農業における被害の把握と就農者が被災した後の補償など、いろいろな問題がでてくる。防災庁では防衛省、消防庁、警察庁だけでなく厚生労働省（厚生局・労働局）、文部科学省、文化庁（教育委員会、教育庁）、国土交通省、農林水産省（農政局など）の関係する省庁でも、もし大規模災害が発生したら、自分達にできる事を考え、話し合い、定期的に防災庁で関係機関の担当者、有識者、委員などが集まり、審議会を開き、府県民・国民に報告、公開する必要がある。</p>	<p>・今後、広域計画の改訂にあわせて本戦略も見直すこととしておりますので、その検討の際には、いただきましたご意見も参考にさせていただきます。</p> <p>・なお、このため、本戦略の「第2部 総合戦略」の「3 今後の方向性」を追加しました。</p>
24	<p>大規模災害発生後の救援物資の調達・搬入において、平時から近畿地方にある食品メーカーや紙オムツなどの生理用品、また衣料、寝具を扱う会社、状況に応じてバス・トラックを所有する旅客運送会社と提携し、震災発生後に活動していただけるよう協力要請を今一度確認しておく必要がある。</p> <p>近畿地方で震災による被害、影響がなくても、今後、四国地方、東海地方で救援物資の輸送を考え、トラックはもちろん、JR貨物によるトラックと鉄道のモーダルシフト方式による輸送をすすめる。</p> <p>京都市であれば、トラックで梅小路貨物駅まで、大阪市ならトラックで百済貨物駅まで、ここから鉄道によるコンテナ輸送でできるだけ被災地の最寄駅まで物資を輸送することを検討し、被災地で出た家庭ゴミ、産業廃棄物の搬出が行えるよう、また、各府県、市町村のクリーンセンター（清掃工場）でこの処理ができないか、今後、考える必要がある。</p>	
25	<p>本社機能の東京流失に歯止めをかけるというのが、何故そうなるかを解明したか。企業とすれば、関西は捨てる訳にはいかないのが悩みの種である。</p>	

整理番号	ご意見・ご提案	関西広域連合の考え方
26	<p>新幹線等のインフラ整備促進について、関西一丸化の取り組みを推進すべきである。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ミニ（狭軌）新幹線の整備を促進すべき。 <p>○岡山→たつの・赤穂→姫路→明石</p> <p>（Aルート）→神戸（空港）→関西空港→堺→大阪→奈良（リニア中央新幹線奈良－三重－名古屋ルートと接続）→三重</p> <p>（Bルート）→新長田→新三宮（ポータルライナーで空港と新神戸駅接続）→伊丹空港→大阪→新大阪→高槻→京都（リニア中央新幹線京都－滋賀県ルートと接続）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・リニア新幹線については、京都ルート（滋賀→京都→大阪）及び奈良ルート（三重→奈良→大阪）について両論併記し、同時着工すべき。 ・北陸新幹線については、彦根米原・湖東側ルート、小浜・湖西側ルート同時着工、完成等について両論併記し、関西創生（京近畿圏）再整備を実現すべき。 	<p>・国土の双眼構造を実現するためには、人・モノが行き交う基盤として、関西におけるインフラ整備が不可欠ですが、新幹線の整備においては、東京に比して圧倒的な格差が生じています。このため、リニア中央新幹線の大阪までの全線同時開業、また、北陸新幹線の大阪までの一日も早いフル規格での整備に向けた取組を関西一丸となって継続的に展開してまいります。</p>
27	<p>「関西国際空港」への関西広域連合の構成府県からの交通アクセスの強化を行う。</p>	<p>・関西が日本の成長を牽引するため、また、国際競争力を強化するためには、海外交易の窓口となる空港のポテンシャルを最大限に発揮することが必要です。このため、関西国際空港への高速アクセス鉄道等のアクセス改善に係る要望を断続的に展開してまいりますとともに、関西の陸海空の玄関から3時間以内でアクセス可能な関西3時間圏域を実現するため、高規格幹線道路等のミッシングリンクの早期解消に向け、関西一丸となった取組を推進してまいります。</p>

整理番号	ご意見・ご提案	関西広域連合の考え方
28	関西広域連合本部事務局が新関西国際空港会社に、北米路線や欧州線の国際定期航空路線の新規開設を要望する。	<ul style="list-style-type: none"> ・今後、広域計画の改訂にあわせて本戦略も見直すこととしておりますので、その検討の際には、いただきましたご意見も参考にさせていただきます。 ・なお、このため、本戦略の「第2部 総合戦略」の「3 今後の方向性」を追加しました。 ・また、新関西国際空港株式会社に対して、国際定期路線の新規開設などの要望を検討する際には、いただきましたご意見も参考にさせていただきます。
29	「関西国際空港」の全体構想を推進する。 →3500mのC滑走路の着工	<ul style="list-style-type: none"> ・いただきましたご意見につきましては、関西広域連合が処理する事務の範囲ではございませんが、その趣旨につきましては施策を進めていく上での参考とさせていただきます。
30	「徳島阿波おどり空港」の国際化の推進	
31	「和歌山県宮南紀白浜空港」の新規国内路線の開設の推進	
32	「兵庫県宮但馬空港」の新規国内路線の開設の推進	
33	「徳島小松島港」、「京都舞鶴港」、「境港」の「国際拠点港湾」への格上げと「阪神港」、「和歌山下津港」、「姫路港」、「堺泉北港」との港湾ネットワーク網の形成	<ul style="list-style-type: none"> ・関西が日本の成長を牽引するため、また、国際競争力を強化するためには、海外交易の窓口となる港湾のポテンシャルを最大限に発揮することが必要です。このためには、国際コンテナ戦略港湾である阪神港、日本海側拠点港である京都舞鶴港及び境港など、関西の主要港湾の機能強化は不可欠であり、物流機能強化、防災強化、観光促進における相互連携施策について検討してまいります。

整理番号	ご意見・ご提案	関西広域連合の考え方
34	「関西大環状高速道路ネットワーク網」の形成	<ul style="list-style-type: none"> ・関西の国際競争力を強化していくためには、関西圏の幹線道路ネットワークの強化は不可欠であります。関西都市圏の拡充等を図るため、関西大環状道路や放射状道路などの形成に向け、関西一丸となって高規格幹線道路等のミッシングリンクの早期解消への取組を推進してまいります。
35	それぞれの構成団体の長期計画との整合性を確保し、京都・大阪・神戸・堺の四指定都市間の連携強化、交通（距離）時間の短縮を推進するとともに、社会的、経済的な相互運用性の強化を図るべき。	<ul style="list-style-type: none"> ・今後、広域計画の改訂にあわせて本戦略も見直すこととしておりますので、その検討の際には、いただきましたご意見も参考にさせていただきます。
36	関西広域連合が構成府県内で「ユビキタス・ネットワーク網」を構築する。	<ul style="list-style-type: none"> ・なお、このため、本戦略の「第2部 総合戦略」の「3 今後の方向性」を追加しました。
37	<p>基本的方向① （2）広域に跨る具体的な施策</p> <p>具体的な取組として提案等を挙げているが、どれくらい計画性や実効性をあげて提案するのかわからないが、ぜひ広域連合内に独自の統計調査係を作り、独自のデータを集めて（国とは別のもの）それを付けて提案しなければ、提案される側からみて説得力のある提案にはならない。</p> <p>よって詳細なデータを含めて提案するようしてほしい。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・今後、広域計画の改訂にあわせて本戦略も見直すこととしておりますので、その検討の際には、いただきましたご意見も参考にさせていただき、データのあり方について検討してまいります。

・基本的方向② 日本の元気を先導する関西経済を創造

整理番号	ご意見・ご提案	関西広域連合の考え方
38	<p><スモールビジネスでローカル経済を先導> (1) 考え方 ①中小企業の創出・強化でローカル経済を活性化させる 明示されている業務内容に失望する。 徳島県神山町など、参考データは氾濫している。事例収集・提示では、業務深化にはならない。世間で周知の事例ばかり。対応のスピード感+傾向の先読力が貧弱である。 ローカル経済の規模をどのくらいに想定しているのか、明示が必要。さらに、中小企業（中でも大・中・小とある）と極小ビジネス（神山町の事例）は峻別しての対応が不可欠になる。企業、ビジネス、規模、業種、地域により、活性化対応が異なる。</p>	<p>・今後、広域計画の改訂にあわせて本戦略も見直すこととしておりますので、その検討の際には、いただきましたご意見も参考にさせていただきます。 ・なお、このため、本戦略の「第2部 総合戦略」の「3 今後の方向性」を追加しました。</p>
39	<p><関西ブランド発信による人・仕事の環流> (2) 広域に跨る具体的な施策 ①海外トッププロモーション 成果・数値目標が必要。マーケティング事項として実施することが重要。 ②国内プロモーション 成果・数値目標が必要。マーケティング事項として実施することが重要。</p>	<p>・今後、広域計画の改訂にあわせて本戦略も見直すこととしておりますので、その検討の際には、いただきましたご意見も参考にさせていただき、成果や数値目標の設定について検討してまいります。</p>
40	<p>関西広域連合全体の視野に立って、各構成府県内の地域地場産業の産業振興を行う。</p>	<p>・域外からの資金や人材を呼び込み、関西に持続的な経済発展をもたらすことは重要です。このため、地域経済の基盤となる地場産業など豊富な地域資源を活かしたプロモーションを行うなど、関西企業のビジネスチャンスの拡大を図ってまいります。</p>

整理番号	ご意見・ご提案	関西広域連合の考え方
41	<p>関西広域連合・広域産業振興局が主体となって、航空宇宙産業、ロボット産業、炭素繊維強化プラスチック (CFRP) やセルロース・ナノファイバー (CNF) などの高機能素材の関連産業、情報通信産業、バイオ産業、医療産業、健康産業の新たな産業の創出を図る。</p>	<p>・今後、広域計画の改訂にあわせて本戦略も見直すこととしておりますので、その検討の際には、いただきましたご意見も参考にさせていただきます。</p> <p>・なお、このため、本戦略の「第2部 総合戦略」の「3 今後の方向性」を追加しました。</p>
42	<p>京都大学を「知の拠点」、「叡智の拠点」として、関西広域連合の構成府県内における基礎科学から応用科学までの一貫した学術研究の推進を行う。 (ロボット産業やバイオ健康産業等)</p>	
43	<p>「関西文化学術研究都市」の機能強化と組織開発を行う。 (「奈良先端科学技術大学院大学」の施設整備の促進)</p>	
44	<p>高速道路のスマート・インターチェンジの開業で地域活性化を行う。</p>	
45	<p>関西広域連合の主導で「ギャップ・イヤー」による徳島県上勝町の「株式会社いろどり」での「インターン・シップ」の推進でキャリア形成を行う。</p>	
46	<p>関西広域連合がAI（人工知能）やIoTを活用して技術革新を行う。</p>	
47	<p>関西広域連合本部事務局と関西広域連合・広域産業振興局が一体となってパナソニックとシャープの有機EL液晶テレビの製造生産の技術支援を行う。</p>	<p>・いただきましたご意見につきましては、関西広域連合が処理する事務の範囲ではございませんが、その趣旨につきましては施策を進めていく上での参考とさせていただきます。</p>
48	<p>徳島県阿南市の日亜化学工業の光レーダーダイオード製造生産の技術支援を行う。</p>	

整理番号	ご意見・ご提案	関西広域連合の考え方
49	<p>関西ブランド発信による人・仕事の環流。重点施策を定め、責任者を明確にして、短期間で対処すべきである。</p> <p>①水産物なら「近大マグロ」方式を官民で応援</p> <p>②農産物なら、素材を旨く活かし全国的な名品となった京野菜の技術を生かし「泉州野菜」を評価すべきである。</p>	<p>・食の文化の発信・農林水産物の販路拡大のツールである「関西の食のリーフレット」において、「新鮮な海の恵み」と題して養殖マグロについて記述しておりますが、このように関西の食文化と高品質で多様な農林水産物・加工食品の情報を国内外へ発信し、事業者の販路拡大を促進してまいります。</p>
50	<p>関西広域連合の構成府県内で生産される「日本茶」の栽培振興を行う。</p>	<p>・農林水産物を関西の産業分野の一翼を担う競争力のある産業として育成し、振興するため、まず、「地場産・府県産、なければエリア内産」を基本に、特産農林水産物をより身近なものとして親しみをもって利用してもらえよう、域内消費拡大を図りますとともに、高品質な農林水産物の情報を効果的に発信し、国内外への販路拡大を図ってまいります。</p>
51	<p>関西広域連合本部事務局と関西広域連合広域産業振興局・農林水産部が一体となって関西広域連合構成府県の各農業大学校間の連携を推進し、構成府県の農業振興を行う。</p>	<p>・今後、広域計画の改訂にあわせて本戦略も見直すこととしておりますので、その検討の際には、いただきましたご意見も参考にさせていただきます。</p> <p>・なお、このため、本戦略の「第2部 総合戦略」の「3 今後の方向性」を追加しました。</p>

・基本的方向③ 「アジアの文化観光首都」の創造

整理番号	ご意見・ご提案	関西広域連合の考え方
52	<p>関西広域連合において、観光庁が認定する構成府県内の「海の京都観光圏」、「びわ湖・近江路観光圏」、「淡路島観光圏」、「吉野大峯・高野観光圏」、「にし阿波～剣山・吉野川観光圏」の広域観光圏の交流を支援する。</p>	<p>・今後、広域計画の改訂にあわせて本戦略も見直すこととしておりますので、その検討の際には、いただきましたご意見も参考にさせていただきます。</p> <p>・なお、このため、本戦略の「第2部 総合戦略」の「3 今後の方向性」を追加しました。</p>
53	<p>関西広域連合の主導でMICE（国際会議・国際学会・国際展示会・国際スポーツ大会等）の誘致の促進を行う。</p>	<p>・新しいインバウンド市場への対応として、関西を一つのエリアとした発想による広域的な「MICE」の取組強化を図ってまいります。</p>
54	<p>関西が誇る「文化芸術資源」の有効活用を展開。 まさに「宝の持ち腐れ」。この価値ある資源を生かそうと努力しない「大仏商法」が総ての根源である。 大阪市の美術館、京都・奈良の古寺・仏閣に共通した、サービス精神の欠如。呆れ果てたのは、鑑賞者の目前での「清掃活動」、ハタキで埃をまき散らしても平然と続ける従業員。そして、著名作品の展覧会場が東京→名古屋→京都→九州と展開する謎、何故に大阪は外され続けるのか。</p>	<p>・関西が有する文化芸術資源をテーマでつなぐ関西「文化の道」事業や外国人芸術家等が参加する国際シンポジウムの開催等により、関西文化の魅力を国内外に発信してまいります。</p>
55	<p>「能」や「クラシック音楽」のように多様な芸術を育てた大阪の「町人文化」を復興出来ないか。このまま放置するのは残念。 当面の対策として、目標を絞り込んで重点的に①後継者の育成（芸人と観客）②観客として高齢者と学生の取り込み③適切な支援・援助（観客の動員を主として、演者は技を競い合わせ、名人のみが生き残れる組織とすべき）。</p>	<p>・関西文化の未来を担う若者や子供たちをターゲットにした「関西文化」の魅力発信と文化の継承や人材の育成に取り組むとともに、観光との連携による広域的な誘客効果を確実に波及させるため、関係機関等が協働し、その環境づくりを進めてまいります。</p>
56	<p>「文楽・人形浄瑠璃」の伝統文化の推進を行う。</p>	

整理番号	ご意見・ご提案	関西広域連合の考え方
57	「歴史街道」の活性化を行う。	<ul style="list-style-type: none"> ・「歴史街道」については、歴史街道推進協議会において諸事業を推進されておりますが、関西広域連合としても引き続き事業連携できるところについては連携し、同協議会とともに活性化に向けて取り組んでまいります。
58	平成28年度の「京奈和自動車道」の和歌山県内の全線開通を機会に、「紀伊山地の霊場と参詣道」（高野山・金剛峯寺）と「四国霊場八十八ヶ所と遍路道」との広域的な文化交流の推進を行う。	<ul style="list-style-type: none"> ・今後、広域計画の改訂にあわせて本戦略も見直すこととしておりますので、その検討の際には、いただきましたご意見も参考にさせていただきます。
59	大阪城ホールで「関西広域連合・盆踊り大会」を開催する。	<ul style="list-style-type: none"> ・なお、このため、本戦略の「第2部 総合戦略」の「3 今後の方向性」を追加しました。
60	関西広域連合全体で「大阪万国博覧会」の誘致・開催を行う。	
61	京都府への文化庁の政府移転を機会に「京都国立博物館」を中心にして、関西広域連合の構成府県の県立博物館や市立博物館を対象に「関西広域連合・ネットワーク博物館」を構築する。	
62	京都府への文化庁の政府移転を機会に「京都国立近代美術館」を中心にして、関西広域連合の構成府県市の県立・市立美術館を対象に「関西広域連合・ネットワーク美術館」を構築する。	
63	関西広域連合の構成府県内における高速道路の「SA」、「道の駅」、「海の駅」等を「地域情報発信交流拠点」への施設整備の促進を行う。	
64	木津川・宇治川・桂川の合流地点における観光に供する開発整備案について、広域連合として取り組む必要がある。	

整理番号	ご意見・ご提案	関西広域連合の考え方
65	<p>スポーツの聖地関西というが、全国的には「高校野球の甲子園球場」、「ラグビーといえば花園」程度ではないのか。ならば当面はこれに注力すべきと思う。</p>	<p>・関西ワールドマスタースゲームズ2021の開催を控え、競技スポーツ大会の拠点「スポーツの聖地関西」を実現するための絶好の機会を迎えております。このため、国際競技大会や全国大会の開催各地への招致の支援やスポーツ人材の育成などを通じて、施設利用やスポーツ人材派遣等のシステムを構築するなど、毎年、関西各地で大規模競技大会が開催される環境づくりに努めてまいります。</p>

・基本的方向④ 防災・医療の充実による「安全・安心圏域」の創造

整理番号	ご意見・ご提案	関西広域連合の考え方
66	<p>材木の販売価格下落や都市ガス普及による炭・薪の需要減少などにより、民有林の手入れが放置され、京都府では特別税の導入となった。木質バイオマス発電所も含め、災害に対する民有林の総点検は河川も絡んでおり、広域連合として取り組む必要がある。</p>	<p>・今後、広域計画の改訂にあわせて本戦略も見直すこととしておりますので、その検討の際には、いただきましたご意見も参考にさせていただきます。</p> <p>・なお、このため、本戦略の「第2部 総合戦略」の「3 今後の方向性」を追加しました。</p>
67	<p>「関西広域連合・広域医療局」が京都大学病院を中心にして、ICTの情報通信技術を活かして「関西広域連合・ネットワーク医療機関」を構築する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・遠隔地医療の推進 ・救急救命医師の人材養成 	<p>・地域偏在、診療科偏在等による医師不足に悩む地域の課題解決のため、ICTを活用し、連合管内の医療機関が連携し、いつでも、どこでも、的確な診断、治療の提供が可能となるよう、遠隔医療等広域医療体制の整備を推進してまいります。</p>

・基本的方向⑤ 「環境先進地域」の創造（持続可能な社会の実現）

整理番号	ご意見・ご提案	関西広域連合の考え方
68	<p>「環境先進地域」の展開も良いが、体験学習の「うみのこ」、「ニホンジカ」に絞り込んで、実績を生かして展開したらいいのではないかと。</p>	<p>・環境先進地域を創造するためには、いただきました意見の2項目はもとより、幼児期における環境学習の推進など広域に跨る他の施策も不可欠であり、これらを加えることにより持続可能な社会を実現してまいります。</p>
69	<p>「関西広域連合・広域産業振興局」と「関西広域連合・広域環境保全局」が連携して「関西広域連合 Zero Emission」の推進を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・資源回収ゴミの3Rの推進→徳島県上勝町の「上勝Zero Emission」の取組み ・水素燃料電池自動車、電気自動車、プラグインハイブリッド自動車の普及促進 	<p>・今後、広域計画の改訂にあわせて本戦略も見直すこととしておりますので、その検討の際には、いただきましたご意見も参考にさせていただきます。</p> <p>・なお、このため、本戦略の「第2部 総合戦略」の「3 今後の方向性」を追加しました。</p>

その他

整理番号	ご意見・ご提案	関西広域連合の考え方
70	人口ビジョン、人口動態については、関西地域の人口増を図ることが基本となると思う。国の考え方が変わる必要があるが、我が国の人口のうち後期高齢者を75才以上という考え方をそろそろ85才位に変更する必要があるのではないかと思う。元気より、労働不足の解消に役立つと考えられる。	<ul style="list-style-type: none"> ・今後、広域計画の改訂にあわせて本戦略も見直すこととしておりますので、その検討の際には、いただきましたご意見も参考にさせていただきます。 ・なお、このため、本戦略の「第2部 総合戦略」の「3 今後の方向性」を追加しました。
71	関西広域連合が主体となって、関西広域連合の構成府県内の国立大学、公立大学、私立大学の大学間の枠を越えて、大学の統合を推進する。	
72	大阪教育大学を「学校教育の拠点」として大阪教育大学を中心とする京都教育大学、兵庫教育大学、奈良教育大学、鳴門教育大学で構成する「関西広域連合・ネットワーク教育大学」を構築し、学校教育における現場の教員の資質の向上を図る。	
73	関西広域連合の構成府県内の文部科学省指定の「スーパー・サイエンス・ハイスクール指定校」間での切磋琢磨により、各「スーパー・サイエンス・ハイスクール指定校」のスキルアップを図る。	
74	関西広域連合が主体となって、「神戸大学・経営学部」から「神戸大学・商学部」への学部改組を推進する。	<ul style="list-style-type: none"> ・いただきましたご意見につきましては、関西広域連合の処理する事務の範囲ではございませんが、その趣旨につきましては施策を進めていく上での参考とさせていただきます。
75	関西広域連合が主体となって、「神戸大学・農学部」から「神戸大学・農林海洋科学部」への学部改組を推進する。	
76	<p>天井川になっている京都府京田辺市の興戸地区に防賀川について、二十数年前、河川の切下げ工事が行われたが、川の中は草が生い茂っている。河川の両岸に桜の並木などが植えられればよいが、一向に整備されていない。京田辺市に要望しても、府の管轄であると逃げ腰である。</p> <p>市民が一度植木を植えたが育たず、地域住民が草刈やゴミ拾いをしている状況。いい加減に整備するべきである。災害が起きてからでは遅い。</p>	

整理番号	ご意見・ご提案	関西広域連合の考え方
77	<p>日本人、外国人問わず、九州地方の住民にとって危急存亡の時、関西広域連合構成団体の職員は関西広域連合長のもと、一致団結して奮励努力すべき。関西広域連合は尽力すべきである。</p>	<p>・関西広域連合では、4月14日前震発生後、速やかに先遣隊3名を現地に派遣、その後、連合長を本部長とする災害対策支援本部を立ち上げ、構成団体からの医療関係者や消防・警察職員等人的支援や物資支援など、全力をあげて被災地支援を実施しております。阪神・淡路大震災を経験した関西として、被災地の早期復旧・復興に向け、引き続き支援協力してまいります。</p>
78	<p>趣旨の大枠については必要性を感じ、かつ基本的な考え方に対しての異論はないが「効率的かつ効果的な取組を緊急的かつ集中的に実施するため」の「まち・ひと・しごと創生法」に基づく地方版総合戦略という多岐にわたる総合戦略に対する意見の募集を平成28年4月11日（月）から同4月25日（月）必着という短期に行い、かつ、その間何の告知や内容説明の機会があるのかないのかも知らされていないように思える。</p> <p>このような進め方自体に国民や住民への説明を充分しないまま事を進めようとする姿勢を感じる。</p>	<p>・今回の意見募集は、平成28年4月11日（月）から4月25日（月）まで実施し、この間、募集要項を関西広域連合構成府県市の情報センター等に配架するとともに、関西広域連合ホームページに掲載しました。併せて、構成府県市を通じて各記者会あてに報道発表を行い、広く住民の皆様へ周知を図らせていただきましたが、今後、パブリックコメントを実施する際には、いただきましたご意見も参考にしながら実施してまいります。</p>